

節約の実現を目的とした家計簿システムの提案

研究系卒研 制作系卒研

068033 大内 美幸

(指導教員 速水 治夫 教授)

1. はじめに

家計簿とは、家計の収入や支出を管理するものであり、節約を目的にするものである。家計簿には、決まった書き方やルールは無いため、現在では、ノート記入のものだけではなく、パソコンソフトや、携帯電話のアプリ機能、ゲームソフトなど、様々な媒体で存在する。中でも、パソコンでの記帳は、入力、修正が楽であることや、計算が自動で行われることなどで人気もあり、たくさんの種類のソフトが出ている。

しかし、既存のソフトには、記入のため機能は多く存在するが、記入された項目に対し、分析やアドバイスを行うものは無いため、改善点が見いだせず、節約に繋がらない。それにより、記入するだけで終わってしまい、得られるものがなく、面倒になり長く続かないことも多い。本研究では、無駄遣いの指摘、アドバイスをを行い、記帳継続のために他機能との連携をした家計簿システムを提案する。

2. 構築システムの概要

本システムは大きく分け、家計簿記入、分析、ダイエット支援の3つに分けられる。以下に画面遷移図を示す

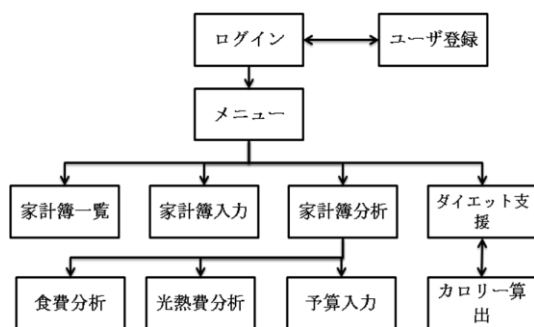


図 1 画面遷移図

2.1 家計簿入力

支出の入力候補をプルダウンで表示することで、入力の煩わしさを軽減する。

2.2 分析

予算と出費の比較、グラフ化を行い、予算と比較したオーバー分を具体的な数値、商品名で指摘を行うことで、節約の実現を促す。

2.3 ダイエット支援

体重変移表を用意。また、個人の消費カロリー¹⁾を算出し、購入した食品のカロリー²⁾との比較を行う。オ

ーバーしていた場合、オーバー分のカロリーと消費方法を主な運動と時間で提示する。ダイエット支援と家計簿のデータを連携することで、家計簿記入の継続を促す。

3. 結果

本学の学生 5 名にシステムを利用してもらい、5 段階評価と記述式のアンケートを実施した。結果を表 1 に示す。

表 1 評価結果

| 質問 | 評価(五段階) | | | | | 平均評価 | |
|----------|-------------------------|---|---|---|---|------|-----|
| | 1 | 2 | 3 | 4 | 5 | | |
| 一覧画面 | 見やすいか | | 1 | 2 | 2 | 3.2 | |
| | 検索しやすいか | | 1 | 3 | 1 | 3 | |
| 家計簿記入 | 記入しやすいか | | 1 | 1 | 2 | 3.6 | |
| | デフォルトで入っている商品名は十分か | 1 | 1 | 1 | | 2 | 3.2 |
| 分析・食費分析 | 無駄な部分が一目で分かるか | | | 2 | 1 | 2 | 4 |
| | オーバー分の例が参考になるか | | | | 3 | 2 | 4.4 |
| | 食費のグラフは参考になったか | | | | 2 | 3 | 4.6 |
| 分析・光熱費分析 | グラフが参考になったか | | | 1 | 1 | 3 | 4.4 |
| | 先月、先々月分の比較の表は分かりやすいか | | | 2 | 2 | 1 | 3.8 |
| | 先月、先々月の比較のオーバー例は参考になったか | | | 2 | 2 | 1 | 3.8 |
| ダイエット支援 | カロリーオーバー例は参考になったか | | | 2 | 2 | 1 | 3.8 |
| | 体重変移表は役に立ちそうか | | 1 | 1 | 3 | | 3.4 |

アンケートの結果から、分析部分では高い評価が得られた。一方、一覧や記入部分では、見づらい、使いにくいという意見も上がった。

4. おわりに

評価結果から、分析部分でのグラフの使用や予算との比較、アドバイスにより本研究の目的を達成するシステムを構築することができた。今後の課題として、家計簿一覧での、検索機能の充実や記入作業の簡易化などが挙げられる。

参考文献

- [1] 栄養と栄養素の大辞典
<http://www.fjkw33.com/eiyou/index.html>
- [2] 簡単！栄養 and カロリー計算
<http://www.eiyoukeisan.com/>